

■編集

西区役所総務企画課広聴係 〒063-8612 西区琴似2条7丁目1-1  
TEL 641-2400 内線224~227 FAX 641-2405

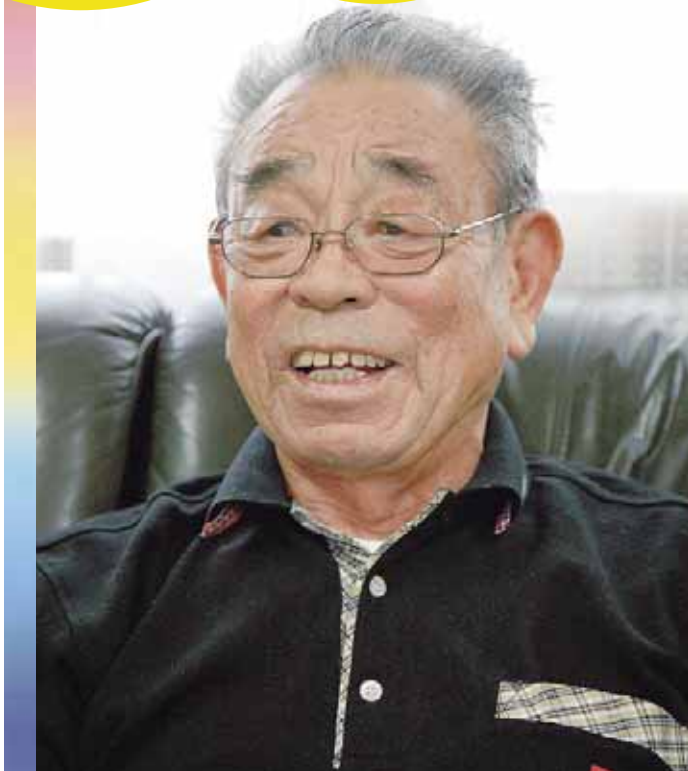
◎西区広報番組「西区情報プラザ」FMラジオ三角山放送局76.2MHz  
毎週月曜日午前11時～

◎西区ホームページ <http://www.city.sapporo.jp/nishi/>

## ◎区民のページ 2006・12



まちの人



福井ばやし保存会代表

おばた ふじまさ  
小畑 藤正さん(76)

### ○福井ばやし

昭和54年、福井町内会の人たちが福井開拓者の出身地である福井県を訪問した。このときに郷土芸能・明神ばやしの演奏を聴いて感動し、自分たちの街にも「ふるさとの響き」を作りたいと思ったことがきっかけとなって福井ばやしは誕生した。

明神ばやしは、織田信長の先祖のふるさと、福井県丹生郡越前町(旧織田町)の劔神社に伝わる三百年以上もの伝統を誇る曲太鼓。昭和46年には福井県の無形文化財に指定されている。



■西區民ふれあいまつりで演奏を披露

福井在住の小畑藤正さんは平成二年から福井ばやし保存会の代表として活動しています。そもそも福井ばやしができるきっかけとなった福井町内会での福井県訪問に小畑さんの父親が同行していたことから、二代目代表を務めることになったそうです。同会を立ち上げた昭和五十六年には、すでに四十歳代となっていた小畑さん。「リズム感もないし、習うにしては年をとっていただけ」と、ご自身は大鼓をたたきませんが、練習や出演の手配など会の運営の中心となって活動を支えています。立ち上げにあたり、同会に

## ふるさとの響きを守り続けたい

賛同する人たちで福井県や、すでに明神ばやしから伝承されていた川湯ばやしのある道東弟子屈町に行つて演奏法を習ってきたといひます。立ち上げた最初の年には、市役所ロビーでの演奏という華々しいデビューを飾りました。このときの演奏が後にさつぽろ雪まつりで演奏することになったり、今でも思い出深いと語ります。

現在は、小学校一年生から入会できる子どもの部が二十人、中学生以上が対象となる大人の部は世話人も含めて二十人が所属し、毎週火曜日に福井会館で太鼓の練習をしています(冬期間を除く)。「少子高齢化で後継者問題はありますが、やる気のある子どもたちが熱心に練習している姿は、かわいいですよ」と目を細める小畑さん。子どもたちを演奏に連れて行ったり、太鼓などを運搬するにも人手が必要のため、後継者問題は大きな課題。「みんなの協力があつてできること。一つのことを続けるのは並大抵のことではない。それでも私の目の黒いうちはこの火を絶やすことはさせたくない」と、力強く決意を語ってくれました。

区民のページで取り上げてほしいテーマなど、皆さんからのご希望やご意見をお寄せください。はがき、ファクス、Eメール [nishi@city.sapporo.jp](mailto:nishi@city.sapporo.jp)、西区総務企画課広聴係(上欄)へ。